

# 技術と安全

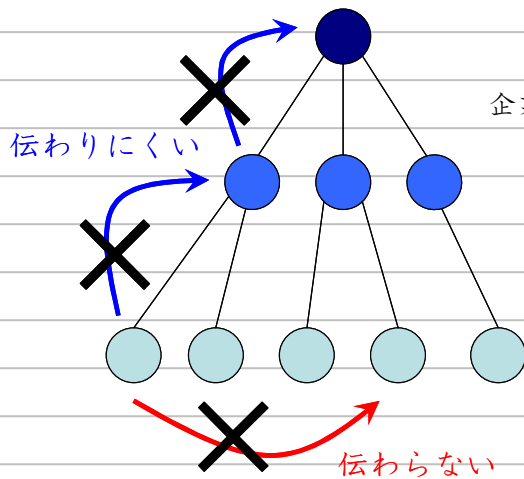
～授業内容～

失敗は隠れたがる！

(軽微な失敗を隠すことで後々の大きな失敗につながる)

—例：失敗を誘発する樹木構造—

樹木構造（ツリー構造）のメリットとデメリットを知る事で失敗を未然に防ごう！



企業では、この様なツリー構造をしていることが多い。  
上の部署が下の部署を監視しているので、  
一番上にはすべての情報が伝わるように思える。

しかし、実際には情報の共有意識が低いため、  
小さな失敗等が隠されてしまう事がある。

メリット：役割・機能を分担することで、一部の知識で作業可能・効率的！

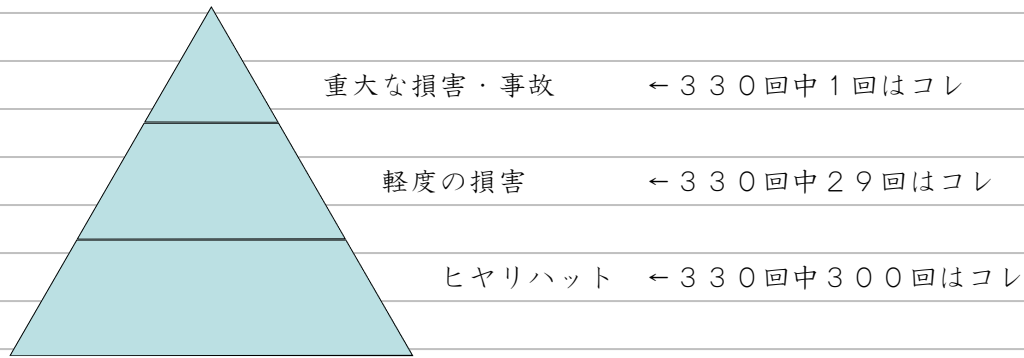
デメリット：情報の分断が起きやすく、その影響が他にも拡がる。**別の部署に失敗が伝わらない。**  
失敗したことを立場的に伝えにくい（隠したい）

失敗がその部署では重大ではないとしても、他の部署では重大な欠陥に繋がることもある。

関わり無い部署の様でも他の部署との関わり（見えないリンク）があることを忘れてはいけない。

## ～講義内容～

### ハインリッヒの法則



失敗の内330回に1回くらいは事故を起こすとされている。

それは330回目に起こるわけではなく、1回目かもしれないし329回目かもしれない。

⇒これがハインリッヒの法則！

大失敗は小さな失敗が重なって起きるもの。

1つの小さな失敗に正面から向き合うことが大切！

### ～今までのまとめ～

#### 失敗情報の性質

- ①隠れたがる
- ②単純化したがる
- ③変わりたがる
- ④神話化しやすい
- ⑤ローカル化しやすい

失敗を次に生かすには、以上の5点に注意しなくてはならない。

登山の例の様に客観的な情報よりも主観的な情報のほうが、失敗情報が多く含まれる。

心理やきっかけを失敗と交えて共有することで、失敗から学ぶことができる。

⇒失敗情報を集め知識化することが大切！

#### 失敗を知識化する時の心得

- ・相手の失敗を批判しないで聞くこと！（隠したがる心理が働かないように）
- ・失敗したときの心理も同時に聞くこと！（その時の気持ちが共有できるように）

⇒人から失敗情報を聞き出しレポートにまとめる。主観的情報を客観的にまとめる。